

## いばらき教員応援団へのメッセージ

「次の時代の人を育てる教員ほど崇高な仕事はない」という上甲先生のお話を伺い、教職に捧げたこれまでの人生が間違いはなかったという思いと、学校経営をする校長としての責務を感じました。このように、教務主任・教頭・校長とキャリアステージの節目に、「いばらき教員応援団」で講師の方々から貴重な講話や力強いエールをいただけたこと、心より感謝しております。学ばせていただいたことを基に、茨城の子供たちの未来のために一層尽力してまいります。

(小学校 校長)

毎回、「いばらき教員応援団」の研修に参加させていただくと、励まされ、「やってみよう」という勇気をもらいます。いつも私たちの「応援団」として寄り添い、見守ってくださることに感謝します。今度は私が皆さまからいただいた想いを、自分の学校の先生方に伝えたいと思います。

(高等学校 校長)

一流講師による「感化力」の研修により、これからの自分との向き合い方を考え、襟を正す機会となりました。「いばらき教育応援団」の皆様、この出会いを与えてくださり、心から感謝申し上げます。心豊かな子どもたちの育成のため、この学びを「流汗悟道」で示し、学校経営に尽力してまいります。

(特別支援学校 校長)

## 令和7年度事業計画

### ○ 合同研修会

7月 1日 (火) レイクビュー水戸 (全員対象) 講師：工藤 公康 氏 (福岡ソフトバンクホークス元監督)

### ○ グループ別研修会(義務、県立の対象者参集)

6月 5日 (木) 水戸プラザホテル (新任校長・副校長対象) 講師：上甲 晃 氏

6月12日 (木) 水戸市民会館 (新任教務主任・主幹・指導教諭対象) 講師：木下 晴弘 氏

6月26日 (木) 水戸プラザホテル (新任教頭対象) 講師：白駒 紀登美 氏

## いばらき教員応援団〈役員一覧〉

| 【役員】 代表理事 |                 | 監事     |                |
|-----------|-----------------|--------|----------------|
| 幡谷 史朗     | 茨城トヨタ自動車株式会社    | 増山 英和  | 増山会計事務所        |
| 副代表理事     |                 |        |                |
| 鈴木 勝彦     | 株式会社鈴木良工務店      |        |                |
| 【理事】      |                 |        |                |
| 青谷 英将     | 株式会社坂東太郎        | 鈴木 達二  | 鈴縫工業株式会社       |
| 鬼澤 慎人     | 株式会社ヤマココーポレーション | 関 正樹   | 関彰商事株式会社       |
| 加藤 敏彦     | 茨城日産自動車株式会社     | 内藤 学   | 水戸ヤクルト販売株式会社   |
| 鯨岡 則雄     | 株式会社大宮自動車教習所    | 沼尻 年正  | 沼尻産業株式会社       |
| 栗山 武志     | 栗山電気株式会社        | 藤田 卓也  | 株式会社フジタビジネスマシズ |
| 坂場 英利     | 株式会社白英社         | 和田 幾久郎 | 株式会社祐月本店       |

## 今後も広く県民の皆様の参加をお願いいたします

### 〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、いばらき教員応援団のホームページから入会申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

### 【問い合わせ先】

茨城県教育庁学校教育課 義務教育課・高校教育課  
いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5226(義務教育課)・5260(高校教育課)

# いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children No.14

## 令和6年度の事業内容をご報告いたします



グループ別研修会 左から上甲 晃 氏、白駒 紀登美 氏、木下 晴弘 氏

### 令和6年度事業概要

### ごあいさつ

**目的** 日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。

**対象者** 市町村立小・中学校等、県立高等学校等、県立特別支援学校  
・新任校長・副校長  
・新任教頭・新任教務主任  
・新任主幹教諭・新任指導教諭

**研修会** ①グループ別研修会  
①参集型 (県立高等学校等・県立特別支援学校等の対象者は会場に参集)  
5月 22日 (水) 新任校長・副校長  
6月 4日 (火) 新任教頭  
6月 18日 (火) 新任教務主任・主幹教諭・指導教諭  
会場：水戸プラザホテル  
②オンデマンド型(市町村立学校の対象者)  
※受講対象者以外の教職員も視聴可能  
夏休み中(8月1日～8月31日)に動画を視聴



本事業は、令和4年にご逝去された高野理事長の「日本の世の中全体が、あらゆる分野で、非常に悪くなってきている。このままでは日本の将来は大変な事になる。それには、学校の先生方皆様に高い志のもと、高い理想のもと大いに奮い立っていただき、次の時代を担う青少年を、子供達を正しく育成していただく他には道はない」という思いに賛同する、企業や県民の皆様をはじめとする多くの方々のご尽力によって発足し今日にいたります。

いばらき教員応援団は、今後も高野理事長のご遺志を受け継ぎ、本事業の更なる発展に努めてまいります。

「教育」とは、児童・生徒の人格を形成する、すなわち、彼ら彼女らがその後の人生における自分自身の「理想図」を描く事に寄り添う事であると考えます。先生からの教えが、どの様に自分自身で捉え、噛み砕き消化し、何時の時点で「血」となり「肉」となるかは、生徒本人でさえ判りません。

直ちに成果が現れてこない、時間がかかる、たとえ判ったとしてもその時、目の前にもう「恩師」はいない。小学校6年間、中学校3年間、高校3年間、合計12年間でどれだけか相手に届くか?なかなか手ごたえを感じる事ができないのが、「教育」です。ひたすら待つ、成長を待つ、気づきを待つ、目覚めを待つ、ここに集うみんなで児童・生徒に寄り添い、一緒に明るい「未来」を作りあげて参ります。

私も教育委員として、各地の現場を拝見する機会を頂いております。各学校とも、学校長・教頭・教務主任の三者が連携を密にし学校経営に取り組み、児童・生徒及び保護者と接する第一線の先生方をバックアップする為にご協力されており、教育行政に携わる者として、毎日のご尽力に重ねて深い敬意と心より感謝を申し上げます。

さて、多くの皆様のご支援ご協力に依り、14年目の事業を無事終了することができました。研修に参加された多くの先生方が、講演内容に感動され、その気付きからこれからの教育活動に研修の成果を存分に生かして下さるものと考えております。今後も、茨城の教育力のさらなる向上、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」そのための社会貢献の一環として、茨城の教員の皆さんを応援して参ります。ここに広く、県民の皆様、この事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

代表理事 幡谷 史朗

いばらき教員応援団<http://www.ibaraki-tcp.jp>

茨城県教育委員会<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.html>



# For the future of Ibaraki children



## 新任校長・副校長



5月22日(水)  
[参加者 173名]

演題

**感化力**

●講師  
上甲 晃氏

松下政経塾では初代塾頭を務めた経験をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の人間性向上の研修に取り組んでいる。著書『志を継ぐ』『志のみ持参』（致知出版社）、『志高く生きる』（致知出版社）、『青年塾の合い言葉1〜5巻』他多数。

## 新任教頭



6月4日(火)  
[参加者 207名]

演題

**志高き日本人の物語**

●講師  
白駒 妃登美氏

大病を患った経験から、命を紡ぐことの大切さを実感し、結婚コンサルタントとして活動する傍ら、歴史講座を始める。コロナ以前、年間の講演依頼は200回に及んだ。コロナ以後は、オンラインの『和ごころ大学』、および『天命追求型・実践経営者会議』を主宰。250名を超える塾生に、歴史が教えてくれる、逆境を力に変える生き方を伝え続けている。著書『人生に悩んだら「日本史」に聞こう』（共著 祥伝社）、『感動する!日本史』（中経出版）、『ここに残る現代史』（KADOKAWA）他多数。

## 新任教務主任・新任主幹教諭・新任指導教諭



6月18日(火)  
[参加者 262名]

演題

**リーダーシップの本質  
最高の職場  
クラスを創るために  
おすすめしたい  
5つの捉え方**

●講師  
木下 晴弘氏

「授業は心」をモットーに、学力だけではなく人間性も伸ばす指導は、生徒、保護者から絶大な支持を得た。以後10年間にわたり、講師および広報・渉外・講師研修など様々な業務を経験。現在、株式会社アビリティレーニングの代表取締役として、全国教育機関で、教員・保護者・生徒向けのセミナーを実施している。そして、そのセミナーは様々な分野の各企業からも注目され、いまやセミナー受講者は350,000人を超えている。著書『ココロでわかると必ず人は伸びる』（総合法令出版）、『できる子にする「賢母の力」』（PHP研究所）、『涙の数だけ大きくなる!』（フォレスト出版）他多数。

## 受講者の感想より

学校経営をするにあたり、管理職としての心構えをご教示いただきました。講話の中で、もって範を示す、誰よりも熱心であれ、流汗惜道等、人間力を養う言葉に感銘しました。組織の中で、話をよく聞き、平凡を徹底し、感化力のある人になれるように尽力します。ありがとうございました。

(小学校 校長)

松下幸之助さんから上甲さんがかけられた「誰よりも熱心であれ」という言葉が心に残りました。これは、教育にも通じるものであり、教育者として心に刻まなければならない言葉でもあります。また、心遣いは無限にできるという言葉も印象に残りました。校長として、職員や生徒が困っていないか、困ったことがあったときに話しやすい雰囲気がつくられているか、常に心を配って校長という業務に邁進しなければならないと感じました。

(中学校 校長)

「教職とは、次世代を生きる人を育てる最高の仕事」という言葉がさきりました。人のため、誰かの役に立つために、何事にも「はい喜んで」と言える人間力を養い、衆知を集め、当たり前前のことを誰よりも一生懸命できる生徒と職員（自分を含め）を育てたいと実感した。自身の役割を再考できる、素敵な時間をありがとうございました。

(高等学校 校長)

企業からの視点というより、真に通じる重要な学びがありました。この理念を基に教育の在り方や社会貢献の重要性を再認識することができました。また、人材育成の考え方については、教師一人ひとりの成長が学校全体の持続可能性につながる。さらにリーダーシップの本質を感じられたこと、困難を乗り越える力についても具体的なエピソードを交えてお話しいただいたこと、感銘を受けました。(特別支援学校 副校長)

## 受講者の感想より

この度は貴重な研修の機会をいただき、ありがとうございました。白駒先生からのお話から様々な視座を頂きました。特に、教員として子供達に関わる仕事をしていく上で「志は受け継がれていく」という言葉には大変感銘を受けました。これまでの先輩方から引き継いだ想いを基に、今の時代、そして未来に必要な志をしっかりと持ち教育に携わっていきたいと思います。

(中学校 教頭)

志をもつことは、世のため人のためであり、大切な人や大好きな人を笑顔にするためであるという言葉に感銘を受けました。自分自身も大病を患い、自分が仕事を辞めようと考えていた時、それをとめてくださった先輩がいてくれたから、今があると思っています。私にとって教職は、まさに志をもってできる仕事です。これから志をつないでいけるような仕事をしたいと痛感させられました。(義務教育学校 教頭)

「幸せ」とは何か。それは「自分という存在が誰かの喜びや笑顔のもとになれること」。先生のお話を聞いて「幸せ」の部分に「教育」に置き換えても良いなと思いました。自分自身の成長や達成感を感じた生徒が笑顔になれるよう、教育に携わること誇りに思っています。このように勇気をもらいました。ありがとうございました。

(高等学校 教頭)

歴史、特に偉人の伝記から見る日本人の「道徳心の高さ」や「日本人が求めた道」などを通して、労働観や働くことはなど基本的な考え方について学ぶことができました。また、海外から見た日本の教育者精神（台湾で語り継がれる日本精神）については、誇りに思う気持ちと、自分のできるのかという思いがあり、考える良い機会となりました。

(特別支援学校 教頭)

## 受講者の感想より

ご講演の一つ一つが印象深い言葉でしたが、その中でも特に「現象に惑わされず、本質を見抜く」という言葉がとても心に残っています。保護者や児童の対応で悩むことがあったり、職員のサポートに悩むことがあったりしますが、本当の思いは何かを捉え、それに対応することが本当に大切なことなのと感じました。最後のお話の中でも、児童の表面にとらわれなかったからこそ、子どもの人生が幸せなものとなったのだと思います。本当の思いは何か、本当に伝えたいことは何かを考えることを忘れずに対応していきたいと思いました。(小学校 教務主任)

大変興味深く動画を視聴しました。私の日々を振り返ってみると、目に見える「現象」だけに左右されて自分や他人の価値を決めてしまいがちななと思いました。どうしても他人やある一定の基準と比べることが評価の指標になってしまう。それでは、本質は見えないと思います。見えないところに「本質」がある。とても心に響きました。今後の人間関係において大切にしていきたいと思いました。(義務教育学校 教務主任)

約2時間の講演でしたが、1秒たりとも聞く側を飽きさせないプレゼンテーションに圧倒されました。このような講演に出会ったのは初めてであり、衝撃的でした。パワーポイントの見せ方、動画や効果音の使い方も参考になりましたが、何となく講師の木下先生の身体性と研究成果に裏付けされた内容と、聞き手を引き込む話術に引き込まれました。今回の内容を受けて、自分の置かれた環境の中では是非実践してみようと思いました。このような機会を与えていただき、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。(高等学校 教務主任)

今回の講演を通して、本質を捉えることの大切さを改めて考えました。自分の目でしっかり見て判断する、その過程で様々な考えをめぐらすことも重要だと考えます。どんなことでも自分の成長の糧となると捉えることで、目の前の業務や職場の仲間とのやりとりも良い方向に変化するのではないか、そのような考え方の視点を持つことができ、少し気持ち楽になった気がします。(特別支援学校 教務主任)